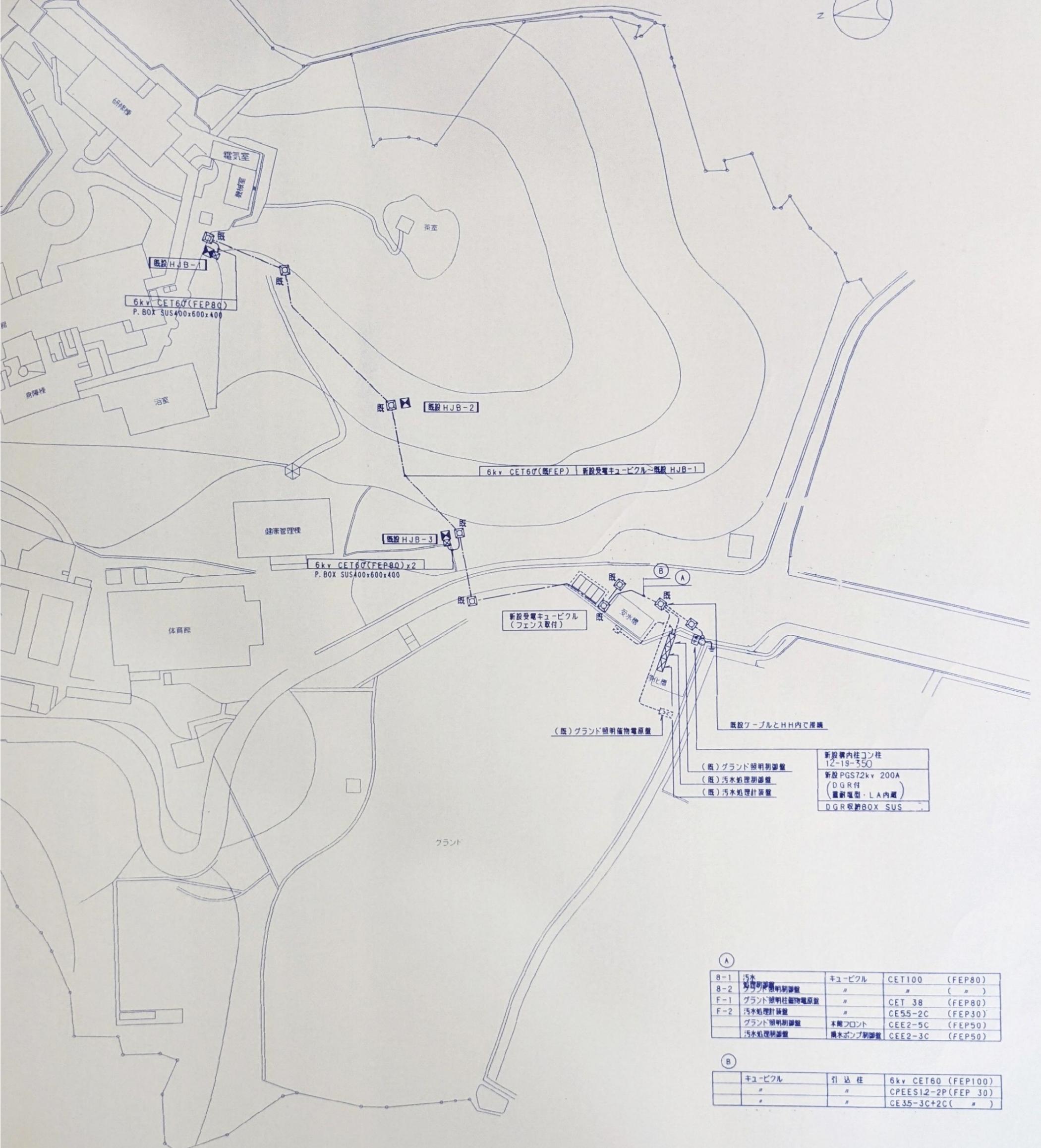


配置図 S=1/1000

 縮尺 1/1000 日付	工事名称 完成図・財産図 山陽ハイツ耐震改修その他電気設備工事	工事番号
	図面内容 電話・CATV設備屋外配線図	図面番号 E



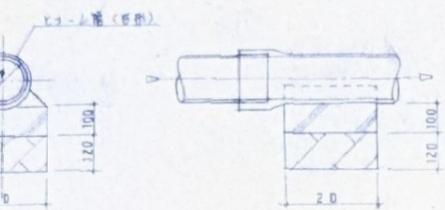
配置図 S=1/1000

新設構内柱コン柱  
12-19-350  
新設 PGS72kv 200A  
(DGR付)  
(最新型・LA内蔵)  
DGR収納BOX SUS

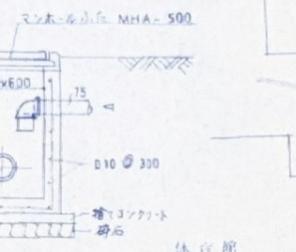
A			
8-1	汚水	キュービクル	CET100 (FEP80)
8-2	グラウンド照明制御盤	"	" ( " )
F-1	グラウンド照明柱備物電源盤	"	CET 38 (FEP80)
F-2	汚水処理計装盤	"	CEE5-2C (FEP30)
	グラウンド照明制御盤	本館フロント	CEE2-5C (FEP50)
	汚水処理制御盤	雨水ポンプ制御盤	CEE2-3C (FEP50)

B			
	キュービクル	引込柱	6kV CET60 (FEP100)
	"	"	CPEES12-2P (FEP 30)
	"	"	CE35-3C+2C ( " )

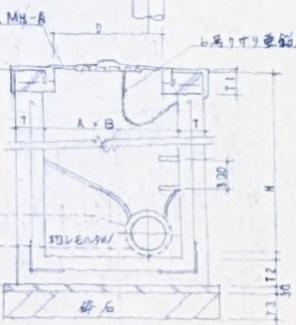
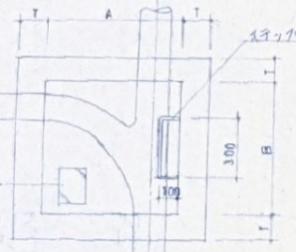
縮尺 1/1000 日付	工事名称 完成図・財産図 山陽ハイツ耐震改修その他電気設備工事	工事番号
	図面内容 高圧受電設備屋外配線図	図面番号 E-52



七、一、去管基礎図 NO SCALE



マンホールの寸法 MHA-500 NO SCALE

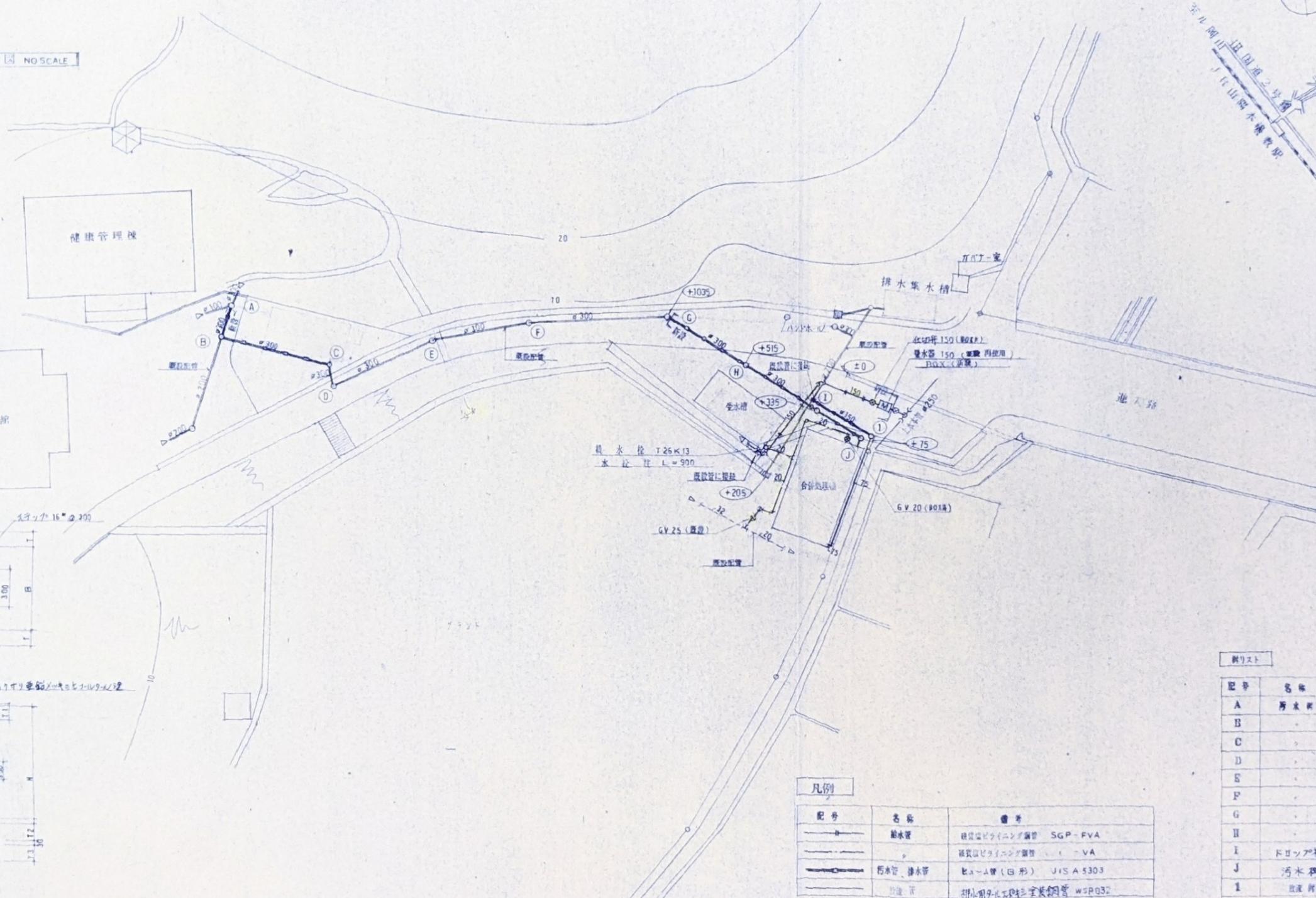


マンホール NO SCALE

埋深	幅	高さ	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法
H	T	T1	T2	T3	D	D1	D2	D3
610~1200	60	100	120	120	500	500	500	MH-A
1210~2000	120	120	120	150	600	600	600	MH-A

1000以上の埋深は寸法16φ300(無蓋)のマンホールを使用  
 必要箇所は10φ100のマンホールに設置し、位置に余裕がある場合は10φ100のマンホールに設置する  
 マンホールの流水面は平滑に仕上げます

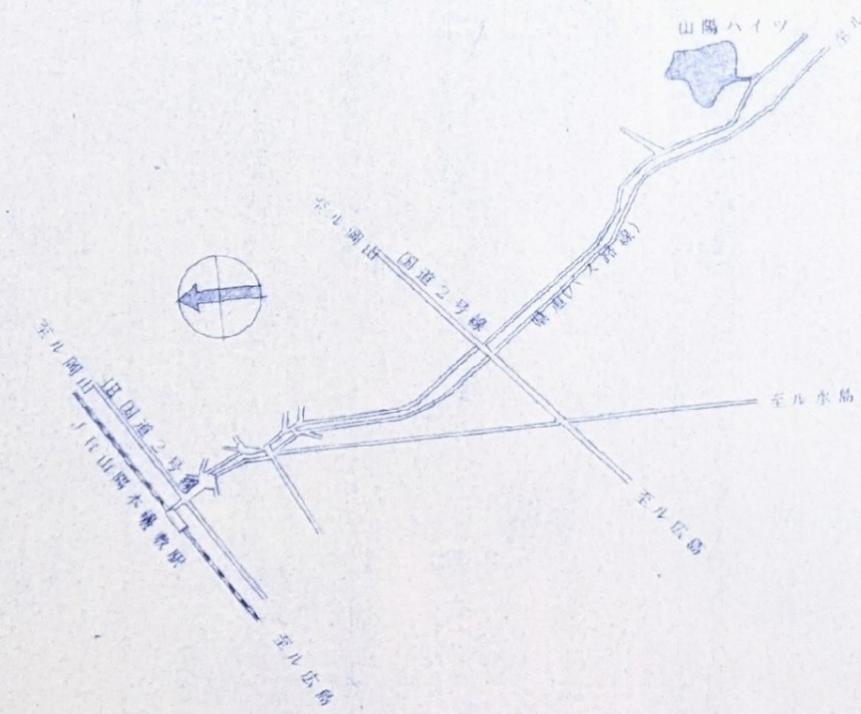
屋外配管図 S=1:500



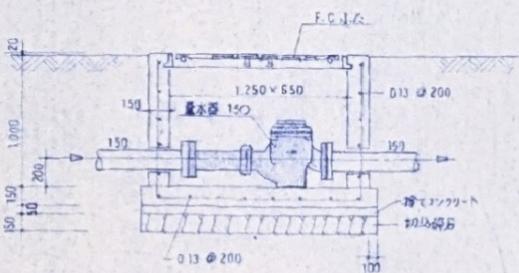
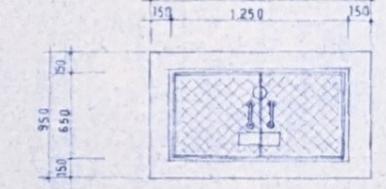
凡例

記号	名称	備考
—●—	給水管	硬質塩化ビニル管 SGP-FVA
—○—	排水管	硬質塩化ビニル管 VA
—□—	汚水管・排水管	ヒューズ管(円形) JIS A 5303
—	埋設管	熱可塑性ポリプロピレン管 WSP032

※ 図中の○は敷設後現状の地盤面を示す



案内図 S=1:25,000



マンホール NO SCALE (新設)

異リスト

記号	名称	寸法	管底寸法	備考
A	マンホール	φ900	-1.430	既設 MH-A 500
B	"	750 x 750	-1.520	新設
C	"	φ900	-1.200	既設
D	"			
E	"			
F	"			
G	"		-1.260	
H	"	600 x 600	-942	新設 500
I	ドロップマン	750 x 750	-1.692	600
J	汚水マン	750 x 750	-1.852	
1	放流マン	600 x 600	-762	500

備考

- 1) A, C~G 既設マンホールのマンホール蓋を人孔蓋に取替える。
- 2) A, C, G のマンホールを改造、他のマンホールは内部反復の上補修のみ。
- 3) 上記表中の管底寸法は現状地盤面からの深さを示す。